

会 議 録

会議の名称	第3期西東京市子ども読書活動推進計画策定懇談会第4回会議録
開催日時	平成27年10月14日（水） 午後2時から4時
開催場所	谷戸図書館 読書会室
出席者	宮川委員 服部委員 鈴木（綾）委員 倉内委員 尾関委員 堀委員 吉澤委員 鈴木（壮）委員 大友委員 上岡委員 森委員 安中委員 （欠席 今西委員） 事務局 柳沢図書館地域館長 北嶋
議 題	1 第3期西東京市子ども読書活動推進計画 2 今後の日程確認について 3 その他
会議資料の名称	西東京市子ども読書活動推進計画策定懇談会第4回次第 第3期西東京市子ども読書活動推進計画策定懇談会第2回会議録
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
<p>●座長 会議を始めます。今後の日程を事務局から。</p> <p>●事務局 11月11日に策定懇談会を開催予定。パブリックコメントは市報11月15日掲載予定、期間は11月15日～12月13日までとする。11月15日に掲載するので11月13日には完成予定とする。計画の素案は現時点で出しているが、量のバランスがあるので、精査する必要がある。各課から出ているが、家庭の部分はどうするかが課題である。今後、起草委員会も含め懇談会の進め方を考えていかなければならない。</p> <p>●座長 先日、起草委員会をした。各世代のことを含めて書いたものを軸にどのような計画にすればいいかを考える必要がある。学校図書館の役割、公共図書館の役割そして学校と家庭を往復している子どもたちへ働きかけられていることが、具体的にあるということだ。その中で、我々が読書推進計画を立てていかなければならない。</p> <p>●A委員 いろいろ働きかけても、国語が嫌いな子どもは嫌いである。どこが大事なのか深く読んでいかなければならない。本が好きでない子どもはなかなか本を読まない。これらを、子ども読書活動推進計画にどのように生かすのか。</p> <p>●B委員 今回の国語の教科書で「この本読もう！」というコーナーが付いていて、こんな本を読んでみたらどうですかというのが紹介されている。それぞれの単元の最後には作者が書いた本やその単元が変わる本のリストが掲載されている。そういう本を図書室で紹介したり、授業で活用していくことを考えながら活用していくことは考えられる。</p>	

●座長 先日起草委員会で話をしたが、今回は施設別に計画を立てるのではなくて、まず年代別にどういう子どもが育ったらよいかを考えて、各施設が具体的に役立つことを考えていくのがいいのではないかと。事務局から「目指す子ども像」という文書が届いていると思うが、それを出してください。やや丁寧に検討して、各施設の取り組みとどのように結びつけてパブリックコメントを受ける計画として公開できるかという段取りまでしたい。まず、見出しのない一番上の部分を検討する。このような子ども像をイメージして、計画を立てましたとか、そういう文脈を作らないとわかりづらいかもしれないので、それらを作ることにする。では、あとの年代別は手分けして書いたもので、書いた方が読んでください。

●副座長 乳児期と言うのがそれ以降の小学生時期と大きく違うのは、関わる大人の課題である。年長から一人読みをはじめる子どももいる。耳から聞かせたい時期と言うことで、先生が書かれた目指す子ども像ということで、文脈的に違うかもしれない。

●座長 何か意見は。

●副座長 本を進める活動というか、絵本の紹介をどういえば良いか。

●A委員 絵本を読もうという活動が、あやしや話しかけることの一環だよということですね。

●副座長 0歳からブックスタートで絵本を配布しているのは、今すぐにとは言ってない。3.4ヶ月児健診が一番受診率が多いからやっているのである。実際には2.3歳で読んでもらうべきものが多い。絵本ナビとかに振り回されている。こちら側を向いて、生の肉声を届けなければならない時期に絵本を読まなければならないという誤解があると怖いと言うのが底辺にある。

●座長 次、小学生に進みます。

●C委員 箇条書きになった。各学年の境目が悩んだ。

●座長 皆で文体をそろえるとなると、ですます調か。公共図書館に行く前に学校図書館との出会いがあるかと思うが、子ども個人として、学校図書館の活用が始まるのは、中学年ぐらいからか。目指す子ども像の小学生であるから、目標や理想が語られると良い。現実とあまりかけ離れていない理想が語られると良い。

●B委員 目指す子ども像がタイトルにあるが、総合的に目指す子ども像があり、乳幼児・小学生・中学生の各論が続くが、この中で述べられるべきものは何なのか。例えば、何かができるよ、これができるこれができるではなく、このような子どもになってほしい、小学生だったらだったらこうありたいと言うのを語るのか。それとも、これができるというのを語るのか。

●座長 これは、学習指導要領をイメージして作ったのだが、ある学年で、これぐらいのことができたとかいうのができたら良いと思った。到達目標である。年代別に構成する計画だから、乳幼児期や小学生とかと各施設の目標や活動をリンクさせるということで、計画自体ができていくということである。小学生の部分で学校図書館の部分をうまく入れて欲しいのと、公共図書館の事が書いてあるが、読書を通して自分の世界を実感でき、読書が自分を高めることができる価値のあるものと気づくことができることを高学年で良いのか、もしくはもっと高い目標のような気がするの、中学生ぐらいになるのか、どうか。

●副座長 小学校の間はおもしろいから読む楽しいから読むという心の遊びである。

●座長 読書を通して自分の世界を実感できるのはいい。

●副座長 座長が提示した生涯読書人をどこか分からないが学校図書館や公共図書館を利用する力を入れたほうがいいのでは。

●座長 あまり具体的に書かなくても良い。学校図書館に行くことによって、本との出会いを作れるようになるといういろいろなことが入ってくるから、それで良いと思う。学校図書館のことを入れていただくことと、ですます調にして作り直しをしてください。では中学生にいけます。

- 副座長 小学生は主語が子どもであるが中学生はどうか。
- 座長 最初に「中学生は」でうたっているが、最後に「導くことが大切である」が大人になっていることか。最後は「深められることが大切である」で良いかもしれない。導くのは実際に学校図書館であったり、家庭だったりいろいろだ。それは、つなげる中で考えていく。では、高校生にいく。
- 座長 高校生に関して、何か意見は。(特になし) これはこれで良いと思う。どうやって結びつけたら、整理できるかということだが、読書環境の整備・利用促進のように、テーマ別になっているが。
- 事務局 「乳幼児」「小学生」「中学生・高校生」の中で、それぞれ最初にお話いただいた大きな柱で、「読書環境の整備」「利用の促進」「人材育成」「関係部署(後方支援)」という形で、それぞれのところに入れてみた。
- 座長 文言も含めて検討する。乳幼児期で「目指す子ども像」を書きその子ども像の実現のために、このような施策を計画しましたという形でこれを全部入れてしまえばいいのではないか。
- 座長 乳幼児期の読書環境の整備という章や節を立てるとしたら、乳幼児期で目指す子ども像の実現のために、各施設はこのような施策を実現していきますというようなことを書いていく。
- 副座長 乳児と幼児はそもそも違うが、結局は本人ではなく、読んであげる大人である。多種多様で、4.5歳までは本なんか知らん振りて走り回っていたのが、急に興味を持つこともあるし、乳幼児に関しては本当に関わる大人である。
- 座長 子どもは皆、関わる大人である。子ども自身に子ども像を目指しなさいとは言っていない。皆がこの子ども像を育てていくために、各施設が目指しましょうと言っている。
- A委員 第2期の時は、タイトルの後に現況と課題を文章で書いて、最終的に資料の実施項目みたいな形で、この表の中にいつからいつまでやりますという報告がでている。今回は各年代別の目指す子ども像が描かれ、実施計画を載せる形で良いのか。
- 副座長 第1期、第2期、第3期とあって、第1期は普通に書かれていて、第2期はそれをやってきたが、今はこの現状と課題があるということでまとめた。第3期はこの変化というか、ここが未解決という読まれ方をしなければならない。
- A委員 第1期、第2期をふまえた第3期だというのが、見えにくい。
- 座長 それは「はじめに」であろう。歴史的に書いてもらえれば。「第1期、第2期、第3期の変遷があって、第3期は年代別に、このような目指す子ども像を思い描きました」というようにして、この中間報告の形でいうと、大きな見出しで、乳幼児に目指す子ども像を書き、添付した文章があって、各子ども像を実現のために、各施設が〇〇をしますというような文章にする。はじめには歴史的な流れを書かなければならない。「はじめに」は誰か書いてください。第1期からわかっている副座長に「はじめに」を書いてもらいたい。第1期、第2期を振り返ってという言葉を入れれば、「はじめに」という言葉に成長すると思う。目次を作ってそれを入れるが、その段階で精査が必要になると思う。パブリックコメントを受けての精査も必要となる。
- 副座長 会議録にも残っているが、各委員がいろいろな質問をしていると思うが、それを含めての形がまだ出ていない。
- 座長 今あるものを事務局が作り直しをその上での方が良いと思う。読書環境の整備を活かして、その中で各施設ごとにグルーピングしていく。
- 座長 乳幼児の頭に文章が入り読書環境の整備 保育所(園)・児童館・図書館…としていく。家庭のところは抜けているが、一応抜いた形で作ってもらう。そこへ足すほうが良いと思う。今、大枠を建設しようとしているが、その上で、このようなことがあった方がいいのではないかとすることがあると思うので、残り時間は、今の枠を意識して、何かご意見とかご質問があったら言い合うと意味があると思う。

- 副座長 期限をもう一度確認する。
- 座長 スケジュールを確認する。副座長の仕事と、子ども像の仕事と、事務局の枠組み変更の3つが課題であるが、それを、どこかの段階までに、取りまとめないと、パブリックコメントにたどり着かない。2週間ぐらいで大丈夫か。次の11日は直前過ぎるから無理であると思う。11日に策定懇談会は行うか。(一同賛同)
では、その前に、起草委員会を行う。1回でいいのか。家庭のことを何とかしないといけない。
- 座長 10月28日(水)及び11月4日(水)午後1時～3時に開催。11日(水)は予定通り2時から策定懇談会。
- 事務局 学校・保育所(園)・児童館は今ままで良いか。変更はないか。
- B委員 学校に関しては、起草委員会とは別にツメの時間を取って欲しい。図書館と重なっている部分をツメてそれから西東京市の学校司書に確認を取りたい。パブリックコメントもあるので28日以前にお願いしたい。
- 座長 28日に検討するものを各施設の各委員にも確認してもらい、赤を入れてもらう。起草委員会2回のうちに反映していく。
- 座長 11/4の間ではいろいろな意見が、合わさる感じである。
- 座長 28日にパブリックコメントになる資料ができたところで、皆さんに送ってもらい、各施設にアポを入れてもらい、4日の段階で合うようなタイミングで集める。
- 副座長 最終原稿はいつなのか。
- 事務局 印刷を考えると12月にできていて、1月に印刷に出したい。
- 座長 前回のものは、資料だとか用語解説がついていたが、それをパブリックコメントまでに完成するのは無理なので「はじめに」「目指す子ども像」「施策」があれば良いか。
- 事務局 この場で了承いただければ、良い。
- 副座長 学校というくくりの中では、なかなか司書教諭の先生が出席できないが、学校司書だけの話ではない。
- B委員 実際には授業が中心で、そうになると、司書教諭・教師が中心になる。
- A委員 目指すもののすり合わせは、指導課に入っていただくのか。
- B委員 最終的には先生と学校司書になる。
- 座長 パブリックコメントはどのくらい来るのか。前は。
- 事務局 細かい文言も含めて。結構来たと聞いている。
- A委員 家庭の部分を考えていくにあたり、何か宿題はあるのか。
- 座長 家庭のことも少し考えておいた方がいい。
- 副座長 これまで家庭のとはどのように書かれてきたか見てみましょう。保育所(園)・小学校どまりだと思われる。
- 座長 もしかすると、家庭は要らないのかもしれない。つまり、今までと作り方が違う。今までは「家庭・地域における読書活動」をどう推進するかという問題の立て方であった。推進するかという主体はむしろ「市」である。「家庭・地域における読書活動」をどう後押しするかという話をしている。目指す子ども像があって、各施設がこういうことをしますというのがある。家庭や地域が何か啓発されたりだとかサービスされたりとかの対象として、家庭や地域が入っている。だから、家庭や地域が、何か施策をするわけではない。実はいらないと思う。各施設の施策の中に、家庭や地域に関してが入ってくれば良いと思う。地域や家庭が施策を立てる主体にはならない。
- A委員 逆に言うと、抜けていないか確認すればよいか。
- 座長 家庭や地域に対する課題や各施設にいろいろあるのだが、どこか穴になっていないかの確認だけか。各施設が主体であって、ある時の子ども像がこうだとすると、それを実現するために各施設がこんなことができますとかしますという中に、家庭や地域に対して、直接子どもに対してだが、子どもに対して、家庭に対して、地域に対して

こんな働きかけである。

●A委員 それは納得のいくとらえ方だと思う。ちょっと違う話になるかもしれないが、乳幼児期にかかわりを持つ施設というと、保育所（園）になるかと思うが、私立幼稚園は家庭への働きかけなのか。

●副座長 図書館としては幼稚園への働きかけが難しい。協働できない。

●座長 幼稚園を飛び越して、家庭に対してである。

●副座長 地域への働きかけのプランや活動は図書館がサポートしていくとその部分は何かあれば加えれば良い。

●座長 第2回起草委員会 10/28（水）午後1時～3時 谷戸図書館読書会室、第3回起草委員会 11/4（水）午後1時～3時 谷戸図書館読書会室、第5回子ども読書活動推進計画策定懇談会委員 11/11（水）イングビル で行う。

●事務局 12/9（水）だが、パブリックコメントは12/13までなので、全部来ていない。

●事務局 9日以降にきた意見に関しては、個別に事務局が行う。

●座長 それも含め9日に決定する。

●座長 まもなく時間であるが、できたような感じがする。28日の起草委員会を目指して宿題の〆切は、23日とする。資料が完成したらメールでお知らせするので各自図書館へ取りに行くか、プリントアウトすること。では今日は終わります。

【次回以降の会議】

第2回起草委員会 10/28（水）午後1時～3時 谷戸図書館読書会室

第3回起草委員会 11/4（水）午後1時～3時 谷戸図書館読書会室

第5回懇談会委員会 11/11（水）午後2時～4時 イングビル

第6回懇談会委員会 12/9（水）午後2時～4時 イングビル

第7回懇談会委員会 1/20（水）午後2時～4時 谷戸図書館